

令和3年度子育て支援者等研修講座 実施要項

- 1 趣 旨 家庭教育・子育て支援に関わる指導者等を対象に、講義や演習を取り入れた研修講座を実施することで、発達障害や児童虐待など、家庭教育や子育て支援に関する知識の習得、またコミュニケーション技法やあそびを通じた実践的指導力の向上を図る。
- 2 主 催 県立こどもの館
- 3 共 催 兵庫県教育委員会事務局社会教育課
- 4 日 時 第1・2回 10月17日（日） 10:00～15:00
第3・4回 10月23日（土） 10:00～15:00
第5・6回 10月30日（土） 10:00～15:00
第7・8回 11月7日（日） 10:00～15:00
第9・10回 11月12日（金） 10:00～15:00
- 5 対 象 すべての教職員、子育て支援関係者
- 6 内 容 別紙「令和3年度子育て支援者等研修講座一覧」参照
- 7 受講料 無料

令和3年度子育て支援者等研修講座 申込方法

- 1 受講料 無料
- 2 申込方法 インターネットによる申込み
 - (1) 県立こどもの館 HP (<https://kodomonoyakata.jp/>) を開き、講座案内の「子育て支援者等研修講座」から PC またはスマートフォンにてお申し込みください。ただし、新型コロナウイルス感染症の影響により、定員や実施内容、実施方法等に変更が生じる可能性がありますことを、ご了承ください。変更については、メールでお知らせしますので、申請時には当日すぐに連絡のつくメールアドレスを登録してください。
 - (2) インターネット等の環境のない方は、県立こどもの館までお問合せください。
- 3 申込締切 各講座開催日の10日前まで(定員になり次第、締め切ります)
※ 定員超過により受講できない場合は、メールで連絡します。
- 4 特別警報発表等非常時の対応について
 - (1) 研修実施日の午前6時に、特別警報(大雨、暴風、暴風雪、大雪等)や特別警報に位置づけられる大津波警報等が兵庫県内に発表されている場合等は、研修を中止する場合があります。HPにご登録いただいたメールアドレスにて連絡します。
 - (2) その他の警報や自然災害等が発生した場合の受講については、所属長の指示に従ってください。

問合せ先

県立こどもの館指導課 担当 岩崎
〒671-2233 姫路市太市中 915-49
TEL 079-266-3169 FAX 079-266-4632
E-mail y_iwasaki@seishonen.or.jp
URL <https://kodomonoyakata.jp/>

令和3年度子育て支援者等研修講座一覧

※ ()の数字は定員数

回	日 程	主 題・ 講 師	会 場
1	10:00 ～12:00	【 インターネットの身近なリスクから身を守るために 】 兵庫県警察本部 サイバー犯罪対策課	中央労働センター小ホール (45名)
	内 容	子どもを守るために知っておきたいこと、インターネットの現状や問題点、さらにはトラブルへの対応法などを被害実態や警察に寄せられた相談等で発見した事例などに基づき、分かりやすい解説で行います。 【準備物】 筆記用具	
2	13:00 ～15:00	【 感染対策の基本の話 ～新型コロナから他の感染症まで～ 】 感染管理認定看護師 県立こども病院 中島 由佳 感染管理認定看護師 県立尼崎総合医療センター 大迫 ひとみ	中央労働センター小ホール (45名)
	内 容	今般の新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、世間の感染対策への意識が高まっています。様々な感染症対策の基本的な考え方から、「こども」に関わる領域における感染対策の特徴と現状を中心にお話しします。 【準備物】 筆記用具	
3	10:00 ～12:00	【 発達障害を通じた世界の見え方 ～心が整う関わりのコツ～ 】 結び手 代表 森山 和泉	生野マインホール (50名)
	内 容	ものの見え方や捉え方、考え方が違うといわれる発達障害のある人たち。その違いを知ることは、すばらしい世界との出合でもあります。「なるほど! そうだったのか」を増やすと、お互いに歩み寄ることのできる優しさが生まれます。くすっと笑えるエピソードを通して発達障害の理解を広げます。 【準備物】 筆記用具	
4	13:00 ～15:00	【 脳と体を育てるリズムジャンプ 】 美作大学 児童学科准教授 津田 幸保	生野マインホール (50名)
	内 容	現在、リズムジャンプは多くの保育園・幼稚園で取り組まれている。本講座ではリズムジャンプの目的・効果に加え、保育に取り入れるための具体的な方法、年間スケジュール等について、実技を交えて学びます。 【準備物】 運動できる服装、室内シューズ、筆記用具	
5	10:00 ～12:00	【 幼児期における自然体験活動の意義 】 国立淡路青少年交流の家 所長 大本 晋也	県立淡路文化会館 (150名)
	内 容	青少年教育施設における幼児を対象とした活動事例を通して、幼児教育における自然体験活動の意義について学びます。 また、普段接している子どもたちの現状や課題を共有し、その現状と課題を踏まえ、子どもたちに必要な自然遊びや様々な体験とは何かを共に考えます。 【準備物】 筆記用具	

6	10月30日(土)	13:00 ～15:00	【 発達障害の子どもたちの困り感と支援の実際～運動・動作の発達を促す遊びや活動～ 】 株式会社アニマシオン プレイジム 代表 太田 篤志	県立淡路文化会館(150名)
		内 容	近年、発達障害の子どもが抱える運動・動作の不器用さが注目されてきました。この講座では、不器用さによって生じる子どもの困り感を捉え、共感的に理解・支援する考え方をお伝えします。また、発達障害児のみならず、幅広く活用できる全身の運動、手先のスキルを育む遊びの考え方を、ワークショップを通して体感していただきます。 【準備物】動きやすい服装(スカート不可)	
7	11月7日(日)	10:00 ～12:00	【 日本で暮らす「外国につながる」子どもの支援～心理面を中心に～ 】 関西福祉大学 助教 森 歩夢	県立こどもの館(70名)
		内 容	近年、日本で暮らす「外国につながる」子どもの支援に注目が集まるようになりました。彼らは、容姿や名前などの違いから疎外感を感じやすく、それらを含めた生きにくさは生涯にわたることが指摘されています。心理支援という視点から彼らの健やかな育ちを考えます。 【準備物】筆記用具	
8	11月7日(日)	13:00 ～15:00	【 楽しい打楽器～体も心もリズムにのって～ 】 神戸マリンバソサエティ 小松 加奈	県立こどもの館(70名)
		内 容	叩く・振る・擦るの単純な動作で音が出る打楽器。その親しみやすさから、子供達が自然にリズムを感じ・楽しみ、その感性を引き出せる事が出来ます。様々な打楽器を身近に見て、体験して頂きながら、音楽あそびに繋がる方法等をご紹介します。 【準備物】(楽器も含む)叩いて・擦って鳴るもの [無理のない範囲で]	
9・10	11月12日(金)	10:00 ～12:00 13:00 ～15:00	【 午前－講義：子どもの意欲を高める運動遊び～自己肯定感の育て方～ 】 【 午後－実技：運動遊び作成のコツとヒント 】 大阪青山大学 教授 村田 トオル	県立武道館(100名)
内 容	<午前－講義>運動遊びは体力向上だけでなく、心の成長にも大きく貢献します(特にコロナ禍においてこの点が着目されています)。体を動かすことにより、心が成長していく過程をわかりやく解説します。 <午後－実技>明日からの保育にすぐに取り入れられる運動遊びを実際に体験します。そして、同時に作成のコツを学びます。 発育発達を考慮した運動遊び(ボール・かけっこ・サーキット)を保育者の関わり方の視点から解説を交えながら進めます。 【準備物】筆記具、運動できる服装(スカート不可)、室内シューズ ※更衣室有			

※ 第5・6回・第7・8回・第9・10回については、幼児教育研修会と合同です。

※ 午前の部、午後の部のどちらかのみ受講も可能です。

(ただし第9・10回については一日受講です。)

※ 必ず各講座の準備物をご確認ください。